

下水道がないとどんなことが起きるの？

世界には今も下水道がない国があります。下水道が整備されていない国では、川や海がよごれ、大雨が降るとしん水ひ害が発生します。また、下水道がないため、トイレを使うことができない人々がたくさんいます。



▲あわがういている川
(出典：日本下水道新聞)



▲大雨でしん水した街
(出典：ウェザーニューズ)



世界の約5人に1人に
あたる15億人が、下
水道がないことで、
衛生的なトイレのな
い生活を送っている。



道ばたや草むらな
ど、屋外で用を足す
人々がたくさんいる。



下水道が
整備されると…

屋外で用を足すことな
どで、ばいきんが人の
手やハエなどの虫、
川、地面などを介して
体内に入って病気にな
り、1年で約52万5千
人の小さな子供たち
が命を落としている。



きれいなトイレで、
用を足せるかん境
づくりが、人の安心
で快適な生活を支
えます。

下水道がないと困ること
がたくさんあるんだね。



下水道事業のSDGsへの関わり

下水道が整備されていることは、世界の大切な目標であるSDGsの達成に大きく関わってきます。例えば、生活で使って汚れた水を下水道へ流し、私たちの生活かん境をきれいに保つことは、SDGsの「6 安全な水とトイレを世界中に」へつながります。

そのほかにも、道路や地面に降った雨を雨水ますを通して下水道管へ流し、街をしん水から守ることや、汚水を水再生センターできれいにしてから川や海に返し、水かん境を守っていることも、SDGsの達成に関わる下水道の大切な役割です。



▲下水道と関係のあるSDGsの項目